

年度	R3
シートNo.	65
シート名	計画指導

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	VI 便利で快適な住みやすいまち
	施策目的 (上位目的)	16 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる
		17 まちなかににぎわいがあるまちになる
	施策の方向	VI-16 都市計画を適切に定め、実現していくために、都市計画に関する調査によって得られた市街地の現況と見通しに基づき、農業的土地利用との調整を図りながら、適正な市街化区域の設定に努めます。
VI-16 開発許可制度を維持し、調和のとれた土地利用を図ります。		
VI-16 交通インフラの強化により周辺地域との連携を図りつつ、人口規模に見合ったコンパクトシティをめざします。また、開発が進められた郊外や既存の集落については、地区計画制度などの地域にあわせた土地利用を検討します。		
VI-17 本市の特色を生かしたコンパクトなまちを検討し、まちなかへの居住を促進させるとともに、人と人の交流できるにぎわいのあるまちなかをめざします。		

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	6.0	1.0	0.0

款	項	目	事業名	予算額
8	4	1	都市計画総務事業	16,359 千円
8	4	1	開発指導事業	266 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			合計	16,625 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
適切な土地利用の規制・誘導を行い、良好な市街地の形成に努める。		-	-	-	-	-	-	-	
良質な宅地を確保し、無秩序な市街地拡散を抑制する		-	-	-	-	-	-	-	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	都市計画の方針を定める。		-	-	-	-	-	-	-	
0101	都市計画マスタープランを見直す。		-	-	-	-	-	-	-	
010101	都市計画区域マスタープランとの整合を図る。									
010102	目標とする都市像を検討する。									
0102	交通体系を検討する		-	-	-	-	-	-	-	
010201	高速道路を活用した新たな交通体系を検討する。									
事業名	都市計画総務事業	年度別決算・予算額(千円)	20,537	20,911	19,890	12,415	34,257	16,359		
02	建築物・土地利用の規制や指導をする。		-	-	-	-	-	-	-	
0201	建築物等の規制や指導をする。		-	-	-	-	-	-	-	
020101	居住誘導区域、都市機能誘導区域外における建築物を区域内へ誘導する。									
020102	風致地区の区域内における建築物等を規制する。									
020103	地区計画等の区域内における建築物等を規制する。									
0202	土地利用の規制や指導をする。		-	-	-	-	-	-	-	
020201	居住誘導区域、都市機能誘導区域外における開発行為を区域内へ誘導する。									
020202	国土利用計画法に基づく届出書の受理及び指導をする。									
020203	駐車場に基づく届出書の受理及び指導をする。									
事業名	都市計画総務事業	年度別決算・予算額(千円)	20,537	20,911	19,890	12,415	34,257	16,359		
03	都市計画の決定及び変更をする。		-	-	-	-	-	-	-	
0301	土地利用の制限を決定及び変更する。		-	-	-	-	-	-	-	
030101	都市計画決定及び変更する区域の資料を作成する。									
0302	都市施設の決定及び変更をする。		-	-	-	-	-	-	-	
030201	都市施設の見直し方針に基づいて変更する。									
030202	都市計画決定及び変更する施設の資料を作成する。									
0302	都市計画審議会を開催する。		-	-	-	-	-	-	-	
事業名	都市計画総務事業	年度別決算・予算額(千円)	20,537	20,911	19,890	12,415	34,257	16,359		
04	コンパクトなまちの実現に向けた事業を展開する。		-	-	-	-	-	-	-	
0401	立地適正化計画の進捗状況を管理する。		-	-	-	-	-	-	-	
040101	事業進捗を調査する。									
040102	事業進捗を評価及び集約する。									
0402	アクションプログラムの進捗状況を管理する。		-	-	-	-	-	-	-	
040201	事業進捗を調査する。									
040202	事業進捗を評価及び集約する。									
0403	広域立地適正化に関する基本方針の事業内容を決定し、進捗状況を管理する。		-	-	-	-	-	-	-	
040301	事業内容を決定する。									
040302	事業進捗を調査する。									
事業名	都市計画総務事業	年度別決算・予算額(千円)	20,537	20,911	19,890	12,415	34,257	16,359		
05	開発行為の許可及び指導をする。		-	-	-	-	-	-	-	
0501	開発行為許可申請の審査及び許可をする。		-	-	-	-	-	-	-	
050101	許可申請の審査、許可、検査をする。									
050102	開発登録簿の調製及び保管をする。									
0502	建築許可申請の許可及び指導をする。		-	-	-	-	-	-	-	
050201	許可申請の審査、許可をする。									
050202	管理台帳の調製及び保管をする。									
0503	開発事業事前協議申請の審査をする。		-	-	-	-	-	-	-	
050301	事前協議申請の審査、意見書交付、検査をする。									
事業名	開発指導事業	年度別決算・予算額(千円)	263	237	237	250	155	266		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 人口減少の進行や高齢化の進展、ひっ迫する財政状況などに対応していきながら、誰もが暮らしやすいまちを創り、持続していくために都市全体の構造を見直してきた。
 ・館林市まちづくりアクションプログラム(平成29年3月策定)
 ・館林都市圏広域立地適正化に関する基本方針(平成29年5月策定)
 ・館林市立地適正化計画(平成31年4月策定)
 ・館林市都市計画マスタープラン(令和2年度改定予定)



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 策定及び改定した計画を推進していく。
 ・区域区分及び用途地域の見直しを検討
 ・地区計画の設定を検討
 ・開発許可技術基準の見直しを検討
 ・開発許可立地基準の見直しを検討

年度	R3
シートNo.	66
所 属	都市建設部 都市計画課 施設計画係
シート名	施設計画

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	VI 便利で快適な住みやすいまち
	施策目的 (上位目的)	17 まちなかににぎわいがあるまちになる
		18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる
	施策の方向	VI-17 本市の特色を生かしたコンパクトなまちを検討し、まちなかへの居住を促進させるとともに、人と人の交流できるにぎわいのあるまちなかをめざします。
VI-18 主要幹線道路をはじめ、市内の幹線道路網を体系的に整備するとともに、既存道路の効果的・効率的な活用も検討し、円滑な道路ネットワークの確立をめざします。		
VI-18 市内移動手段の利便性、安全性の向上のため、道路や橋りょうなどの整備と維持管理を行います。また、歩行者の安全確保に配慮するとともに、自転車の利用者が安心して通行できるよう安全対策に努めます。		
VI-18 複数の交通機関が集中する館林駅周辺がまちの拠点となるよう土地利用を図り、駅前広場をはじめとする都市基盤の整備を推進するとともに、公共交通などのネットワーク機能の充実を図ります。		

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		4.0	0.0	0.0
すべてのシートの合算		13.0	1.0	0.0

款	項	目	事業名	予算額
8	4	2	東部環状線改良事業(県事業)	3,989 千円
8	4	2	中央通り線道路改良事業	830,421 千円
8	4	4	都市再生整備計画事業	4,389 千円
				千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				838,799 千円

任 務 目 的	指 標	過去の実績					目 標	達 成	備 考
		H28	H29	H30	R元	R2			
円滑な交通を確保し、市内の移動が快適になる	都市計画道路の整備率(%)	62.2%	63.6%	64.0%	64.4%	-	-		
自転車や歩行者等が安全に通行できる	自転車・歩行者の事故件数(件)	90	109	112	-	-	-		

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目 標	達 成	備 考
01	スムーズに移動ができる道路をつくる	市街地の通過時間(分)	-	-	6.7	-	-	-	-	(主)佐野行田線、東広内町-緑町交差点の通過時間
0101	道路交通量の推移の確認		-	-	-	-	-	-	-	
010101	交通量調査の実施									
010102	渋滞箇所の把握									
0102	交通環境改善のための関係機関との連携強化		-	-	-	-	-	-	-	
010201	関係機関(警察・土木事務所等)との協議を実施									
010202	庁内関係課との連携									
事業名	東部環状線道路改良事業(県事業)、中央通り線道路改良事業	年度別決算・予算額(千円)	374,632	382,946	131,212	339,055	1,342,984	834,410		
02	ネットワーク化された道路をつくる	都市計画道路の整備率(%)	62.2%	63.6%	64.0%	64.4%	-	-	-	計画決定延長:61.14km
0201	円滑な用地交渉の実施		-	-	-	-	-	-	-	
020101	適切な用地買収単価の設定									
020102	代替地の提供及び建築物等の補償									
0202	快適な道路空間の整備	都市計画道路の整備延長(km)	38.81	38.86	39.12	39.37	-	-	-	
020201	道路構造令に沿った安全な道路設計									
020202	バリアフリー化整備の実施									
020203	歩行者・自転車の回遊性の向上									
0203	積極的な道路整備事業の推進		-	-	-	-	-	-	-	
020301	地元説明会を開催し、住民のコンセンサスを得る									
020302	関係者(地元議員・区長等)との連絡調整を図る									
020303	上位機関に対する要望活動の実施									
事業名	東部環状線道路改良事業(県事業)、中央通り線道路改良事業	年度別決算・予算額(千円)	374,632	382,946	131,212	339,055	1,342,984	834,410		
03	まちなかの賑わいをたかめ、安全性を向上させる		-	-	-	-	-	-	-	
0301	東口駅前広場の安全性・利便性を向上させる		-	-	-	-	-	-	-	
030101	西口駅前広場との整合性のとれたリニューアル計画の策定									
030102	バス停留所へのシェルター及びベンチの設置									
030103	防犯カメラの設置									
030104	身障者用駐車スペースを備えた送迎用駐車場の拡張									
030105	バリアフリー化の拡充									
0302	道路整備に合わせた、周辺の環境整備		-	-	-	-	-	-	-	
030201	まちなかの将来像の検討									
030202	都市再生整備計画の検討									
事業名	整備費 都市再生整備計画事業	年度別決算・予算額(千円)	3,469	0	195	12,621	5,966	4,389		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 円滑な交通を確保し、市内の移動が快適になるよう、幹線道路の整備を促進してきた。
 平成29年9月 西部一号線(岡野跨道橋)開通
 平成30年4月 東部環状線(館林藤岡線～山王赤生田線)開通
 また、まちなかの賑わいをと安全性の向上に向けた中央通り線整備事業が開始となり、便利で快適な住みやすいまちに向けた事業が推進できたほか、都市再生整備計画の検討を行うための検討も合わせて行った。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 引き続き、快適な移動や移動の安全性を高める幹線道路の整備を進めるとともに、今後の社会構造の変化に合わせた道路整備を推進していく。
 特に、まちなかにおいては車中心の道路整備から、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場としての利活用も踏まえた、ウォーカーブルなまちづくりへ反映させていく。

年度	R3
シートNo.	67
シート名	国土調査

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	VI 便利で快適な住みやすいまち
	施策目的 (上位目的)	16 地域性に応じた土地利用ができていくまちになる
	施策の方向	VI-16 土地の保全と活用に資するため、計画的に地籍調査を進めます。

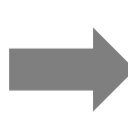
人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	3.0	0.0	0.0

款	項	目	事業名	予算額
6	1	6	地籍調査事業	26,504 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			合計	26,504 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
土地の位置を明確にし、土地、公図、登記簿が合致したデータが得られる	地籍調査実施面積(km ²)	0.51	0.72	0.61	0.44	0.4	↑	○	
	進捗率(%)	14.0%	15.2%	16.2%	17.1%	17.8%	↑	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	地籍調査実施の準備									
0101	実施地区への啓発活動	市広報紙(回数)	1	1	1	1	1	→	○	
010101	市広報紙掲載									
010102	該当地域の区長等に内容説明									
0102	実施地区関係者の理解と協力	説明会(対象地区)	1(大新田町)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	1(下早川田町4)	→	○	
010201	公民館及び市役所会議室において説明会開催									
010202	欠席者に説明会資料の送付									
010203	関係機関との協議、調整									
事業名	地籍調査事業	年度別決算・予算額(千円)	-	-	-	-	-	26,504		
02	地籍調査実施に伴う事前調査									
0201	土地に関する資料の収集	資料収集(対象地区)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	1(下早川田町4)	1(上早川田町1)	→	○	
020101	税務課(資産税)資料より名簿作成									
020102	法務局の謄本と照合									
020103	筆数及び土地所有者の確認									
0202	調査図等作成	調査図等作成(対象地区)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	1(下早川田町4)	1(上早川田町1)	→	○	
020201	現地(調査箇所)の把握									
020202	立会日程の検討									
020203	関係機関との調整									
0203	地籍調査推進委員会の設立	推進委員委嘱(新規)	8	8	8	7	8	→	○	
020301	該当地区の区長に選任依頼									
020302	委嘱状及び土地立入証の交付									
020303	現地立会執務表等の作成、委嘱内容の説明									
事業名	地籍調査事業	年度別決算・予算額(千円)	2,192	1,588	961	3,960	2,145	26,504		
03	地籍調査の実施									
0301	現地調査準備	設計準備(対象地区)	1(大新田町)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	1(下早川田町4)	→	○	
030101	業務委託各工程の設計書作成、準備									
030102	業務委託業者の選定									
030103	関係機関との協議、調整									
0302	地籍測量業務委託	基準点測量(対象地区)	1(大新田町)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	1(下早川田町4)	→	○	
030201	現地の状況、既設杭等の確認									
030202	基準点等の設置、観測									
030203	三角点、多角点等の設置、観測									
0303	一筆ごとに土地の調査(一筆地調査)	一筆地調査(対象地区)	1(大新田町)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	1(下早川田町4)	→	○	
030301	土地所有者などの立会により所有者、地番、境界の確認									
030302	現地確認票に押印、署名									
030303	境界杭の設置									
事業名	地籍調査事業	年度別決算・予算額(千円)	10,117	11,543	10,153	6,050	14,025	26,504		
04	地籍調査成果の処理・活用									
0401	地籍簿及び地籍図等の作成	成果作成(対象地区)	2(加法師町1・2)	1(大新田町)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	→	○	
040101	一筆ごとに土地の測量									
040102	各工程ごとの県検査									
040103	調査測量成果を地権者に閲覧及び配付									
0402	地籍測量成果を国・県に認証申請	成果認証(対象地区)	2(加法師町1・2)	1(大新田町)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	→	○	
040201	各工程検査成績表の確認									
040202	地目別筆数面積変動表等各種調書作成									
040203	地籍図根点測量総括表等の作整備									
0403	地籍調査成果品の登記	登記完了(対象地区)	2(加法師町1・2)	1(大新田町)	1(下早川田町1)	1(下早川田町2)	1(下早川田町3)	→	○	
040301	法務局に登記簿及び公図等の訂正協議									
040302	法務局に地籍図、地籍簿を提出(登記)									
0404	地籍調査事業と効率的な行政運営管理	調査完了地区数(累計)	13	13	14	15	16	↑	○	
040401	成果の保管及び活用									
040402	関係機関に成果品の送付及び地権者に完了のお知らせ通知									
事業名	地籍調査事業	年度別決算・予算額(千円)	1,706	1,402	3,346	3,109	1,803	26,504		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 土地の保全と活用に資するため、計画的に地籍調査を進め、事業進捗率は約17%となっている。令和2年5月に第七次十箇年計画が閣議決定され、本市においては4.79km²の実施目標が設定されているため、計画の最終年度である令和11年度末には進捗率約24%を想定している。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 土地の境界や面積など登記簿と公図が正確に修正されることによる土地の保全と活用に資するため、国の第七次十箇年計画を受け、本市においても計画的に地籍調査を実施していく。令和4年度からは、本市における集約型都市構造(コンパクトシティ)への転換を推進するため、優先的にまちなかにおける地籍調査を実施していく。